

第3回 神戸の都心の「未来の姿」検討委員会 議事要旨

項目	内容
開催日時	平成26年9月3日(水) 午前10時～午後12時
開催場所	神戸市役所1号館14階 大会議室
出席者	34名(委員31名、オブザーバー3名)
議事の目的	<p>①「将来ビジョンのコンセプト(案)」について、設定までの経緯も含め神戸市より説明を行った後、意見を頂く。</p> <p>②コンセプト(案)を基に、分野別とエリア別で整理した「将来ビジョンの枠組み(案)」に対する意見を頂くとともに、コンセプト(案)を踏まえた具体的施策を検討する上で考慮すべき事項やアイデアについて、議論を行う。</p>
議事の内容	<p>①「将来ビジョンのコンセプト(案)」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「陸海空の優れた交通アクセスのもと、歩いて楽しめる範囲に点在する個性豊かな場所」という表現があるが、外部からのアクセスは良好であるが、内部の移動はあまり良くない。 ・外部からのアクセスについては、陸はいいにしても、海・空については、頑張らないといけない。 ・将来の姿を示すだけでなく、その方向へ進めていく手立ても考えるべき。 ・都心部はどう位置づけられて、どういう役割を果たすのかをコンセプトに反映させるべき。 ・SWOT分析で神戸の都心の「強み」と「弱み」を単純に整理しているが、項目ごとにプラスの面、マイナスの面がある。 ・「都心」に特化した形でコンセプトを作るべき。神戸全体を話しているのか、それとも都心を話しているのか曖昧である。 ・都心が都市構造上どういう役割を持たせるかを明確にする必要がある。また、対外的発信力のあるコンセプトにすべきである。 ・コンセプトを基に施策を進めて行く上で、エリアマネジメント的な発想を入れてはどうか。 ・民地は民地、道路は道路と境界線を引いてまちづくりを行ってきた近代の都市計画から、今後はうまく重ね合わせながら一緒にプロジェクトを進める形で整理してはどうか。 ・「ワクワク感」のある内容を盛り込むべき。 ・都心ではなく、もっと大きなテーマで話し合いがされていたところがあるので、「都心」ということに焦点を合わせる必要がある。 ・各エリアで求められる姿が異なると思うので、それぞれの方向性を整理できればよい。 ・神戸市の良い点に関する意見は集まっているが、「ここが不便」といった課題に関する情報が少ない。 <p style="text-align: right;">(次頁へつづく)</p>

項 目	内 容
議事の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで共有できる具体的な目標が示されれば、企業なども一緒に前を向いて動くことができると思う。 ・情報発信が非常に弱いので、せめて都心だけでも整備しなければならないと思う。 ・「人」という言葉が出てこない。その場所に住む人に関する記述が必要である。 ・「勝ち負けを競わないまち」という表現は、分かりづらい。 ・「災害に強いまち」をコンセプトに入れてはどうか。 ・「周辺を牽引する都心」は、「日本全国や海外から人を引き付けるような魅力ある都心」というような表現にすべきではないか。 <p>②「将来ビジョンの具体的施策を検討する上で考慮すべき事項」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板設置についてはエリア毎にルールづくりが必要。 ・坂道、階段が多いので、ユニバーサルなまちづくりを考慮すべき。 ・外国人観光客に対して、多国語表示やコンシェルジュの設置等、サポートが必要。 ・海上から見える夜景にも着目すべき。小さな建物でも夜になると夜景のポイントになるため、大規模なことをせずとも官民の力を合わせて作っていくべき。 ・今から建てる建築物についても、100年後、200年後を考えて作っていくべき。 ・港湾は物流だけでなく、旅客を意識して、観光資源として港を整備すべき。 ・三宮から北や東への人の動きが少ないので、回遊性を高めるため取り組みが必要。 ・歩行者が回遊しやすいまちづくりを目指すため、市が調整力を発揮して、民間事業者等と協力して行ってほしい。 ・エリアだけでなく、それらをつなぐネットワークについても将来ビジョンの枠組みとして考える必要である。 ・イベント時に来街者がどのように回遊して、まちの中を楽しんでいるのかを整理し直し、来街者もまちの人もみんなが参加できるようなイベントに変えていく必要がある。 ・もともと都心であった三宮から西側をどのように整備するのかを早急に考えるべきである。 ・ユニバーサルデザインが実践されたまちとは、高齢者、障がい者だけでなく、若い人も含めて楽しめるまちである。その点で、現状の三宮駅前、ゴミや自転車等が放置されていて、非常に残念である。 ・ハードウェアの整備にあたっては、我々の世代ではなく、次の世代の人にどのように引き継いでいくのかを整理すべき。 ・スカイラインについて、旧居留地では「100年後に揃えばよい」ぐらいの気持ちでいる。 ・国道2号と高速道路が、海辺とまちをつなぐ人の行き来を分断しており、整備できれば随分違うと思う。 <p style="text-align: right;">(次頁へつづく)</p>

項 目	内 容
議事の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸の都心は、外から入ってくることは便利と思うが、都心内の移動に関してはまだまだである。三宮～元町間の地下道は整備すべきだと思う。 ・さんプラザ等の古い建物を今後どのようにするか、イメージできる絵があれば踏み込んだ議論をしやすいと思う。 ・三宮の駅ビルに新たな大規模商業施設が入ることになれば、周辺の店舗への影響が大きいことが予想できるため、十分に検討してから進めるべきである。 ・新神戸から北野へのルートが分かりづらいため、回遊性について検討すべき。 ・三宮の再整備との整合という点で、当検討委員会との情報共有が必要である。 ・三宮の地下街の設備更新時に、先進的なインフラ整備に取り組んで、観光とうまく結びつけていけないか。 ・情報発信を的確に行うことの一方で、どのように受信してもらうかを考えなければならない。 <p style="text-align: right;">以 上</p>